

<グループホーム>

○問21 あなたが「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」を利用する上で（または事業所を選ぶ上で）大切だと思うことは何ですか。

- ・ 家族で過ごすと同じ様に、心に安心感が持てる環境が大切だと思います。安心感があれば、笑顔で過ごせるかと思います。
- ・ 本人がこの場所が住みやすいと思っていることが、訪問して尋ねると「ここが良い」と回答があること。他の人とのコミュニケーションがとれていること。
- ・ 認知症であっても感情は残るため、優しいケアを望みます。
- ・ 1番大切だと思うのは、認知症の方への専門的なケアだと思います。正しいケアを受ける事で本人は不快な思いをする事もなく結果、問題行動等が減ると思うからです。理解はしていても家族だといふ感情的になってしまい症状を悪化させてしまうかもしれません。
- ・ 利用者1人1人の症状が違っているので個々に合わせた対応が必要。職員が専門的知識を体得したケアを望みます。処方されている薬の服用を誤りのないケア望みます。薬の服用の誤りは許されない、基本的サービス。
- ・ 認知症になっているとは言え人としてのプライドは持っていると考えます。それで個人としての尊厳を大事にして世話をして頂きたいです。そのためには、組織がしっかりとした事業所であり、そこで働く人々への教育が行き届いていることが必要と考えています。
- ・ 本人にとっては、家庭的な普段の生活を継続していく事が必要だと思います。特別なお客様ではなくて過保護ではなくて、接してもらえるのが助かります。
- ・ 認知症であっても、明るく淋しさを感じない空間で、生活していて欲しいからです。お世話して頂く方を信頼出来なければ、親を任せる事は不可能です。感受性や記憶力が衰えても、人間らしく生活していける空間が大切だと思います。毎日同じ事の繰り返しのスタッフさんには、とても感謝しています。日だまりの様な施設は、それだけで安心できると思います。
- ・ グループホームは本人にとっては「家」であり「家庭」であるから、家族も積極的に関わった方がよいと思う。そのためには開放的であること、職員と家族の間にも親しさや信頼関係が必要。本人にとっても家族にとっても心地よい、清潔で気持ちよい空間であることも大切だと思う。

- ・ 基本的には人として尊重されるケアサービスができていること。長期間の入所になると自宅や家族から近い場所にあること。
- ・ 長期間の利用を考えると家族との交流、また経済的に不安を軽くできる事が大切だと感じます。介護相談、日常の連絡など思っていた以上にあるので近い事は重要だと思いますが、かといって同じ町内、学区では気疲れが多くなると考えます。
- ・ いつでも会いに行ける距離だと安心できる。持病もあるので医療機関と連携されているほうが、とても安心できます。
- ・ 健康管理で毎月医療機関の医師で診察していただき、本人の体調についてチェックし、職員、家族、関係者が把握してサービス計画に入れて指導する。特に大切と思います。
- ・ 面会時以外にも常に連絡があり、適切な情報提供がされている。
- ・ 利用者本人が入って良かったと安心できる事が重要である。いろいろ経費がかかるので利用しやすい料金である事が重要である。利用者本人や家族の者の気持ちを大切にしてお応えしてもらえる事が安心感と信頼感に結びつく。家族の者はいつも本人の体調を心配し、施設の運営に協力しようと心がけている。